

2020年度町田市教育委員会

第8回定例会会議録

- 1、開催日 2020年11月6日
- 2、開催場所 第二、三、四、五会議室
- 3、出席者
- | | |
|-------|---------|
| 教 育 長 | 坂 本 修 一 |
| 委 員 | 後 藤 良 秀 |
| 委 員 | 森 山 賢 一 |
| 委 員 | 八 並 清 子 |
| 委 員 | 井 上 由 奈 |
- 4、署名委員
- 教育長
-
- 委 員
-
- 5、出席事務局職員
- | | |
|--------------|-----------|
| 学校教育部長 | 北 澤 英 明 |
| 生涯学習部長 | 中 村 哲 也 |
| 教育総務課長 | 田 中 隆 志 |
| 教育総務課担当課長 | 是 安 智 彦 |
| 保健給食課長 | 有 田 宏 治 |
| 指導室長 | 小 池 木 綿 子 |
| (兼) 指導課長 | |
| 指導課担当課長 | 野 田 留 美 |
| 生涯学習部次長 | 佐 藤 浩 子 |
| (兼) 生涯学習総務課長 | |
| 生涯学習センター長 | 塩 田 一 人 |
| 図書館長 | 中 嶋 真 |
| 文化スポーツ振興部 | |
| スポーツ振興課担当課長 | 平 野 圭 |
| スポーツ振興課担当係長 | 須 田 恵 美 子 |

スポーツ振興課主任

阿 部 正 宏

書 記

中 里 典 子

書 記

大河内 和歌子

書 記

瓜 田 円

速 記 士

帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案、臨時代理報告及び結果

議 案 第 3 2 号 第12期町田市学校給食問題協議会委員の委嘱又は任命及び解任につ
いて 原 案 可 決
臨時代理報告第6号 都費負担教職員の服務事故に係る処分内申の臨時代理の報告につい
て 承 認

7、傍聴者数 0 名

8、議事の概要

午前 10 時 00 分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第8回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は八並委員です。

日程の一部変更をお願いいたします。日程第3、臨時代理報告のうち、臨時代理報告第6号につきましては、人事に関する案件であることから非公開とさせていただき、日程第5、報告事項終了後に、一旦休憩をとり、関係者のみお残りいただいて審議をしたいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず私から1点だけご報告をさせていただきます。

各学校におきましては、9月の前半から道徳授業地区公開講座ですとか、運動会、体育

祭、あるいは研究発表会、周年行事などの行事について、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、計画的に進めていただいているところでございます。

これまで市民や保護者の皆様からは、学校において運動会や体育祭等の行事を実施することに対する不安や、対応に関する心配の声教育委員会に寄せられておりましたが、最近ではこれも減少傾向にございます。これは国の Go To トラベル事業に、東京都発着による旅行が追加されたことや、ウィズコロナという考え方が定着し始めて、少し緊張感が緩くなっていることもございますが、何より各学校における児童・生徒の状況に応じた細やかな配慮や、新たな日常としての工夫、丁寧な対応の積み重ねが理解されることで、児童・生徒を初め、保護者、地域の皆様の不安を払拭することができ始めていることのあらわれであるというふうに捉えております。平素からの先生方のご努力に対して感謝を申し上げたいと思います。

そのような状況の中で、先月、10月16日（金）に、多摩市立陸上競技場において、町田市小学校連合体育大会が開催されました。当日は天候が心配されましたが、開会式とともに見事に晴れ上がりまして、この翌日、土曜日に運動会を予定していた学校には大変申しわけないような晴天となりました。

今年度の大会はコロナ禍における連合行事のあり方を模索し、来年度の全校実施の大会につなげるプレ大会の第2弾として、希望した20校が参加して行われたわけですが、大会運営委員長の南第四小学校の宇田陽一校長先生と、副委員長の金井小学校の三瓶昌信校長先生を初め、小学校教育研究会の体育部が中心となり、小学校校長会と連携しながら、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた種目のあり方ですとか、競技の実施方法の工夫など、当日に至るまで入念な準備を進めていただきました。心から感謝申し上げます。また当日は20名以上の国士舘大学の学生が協力していただきまして、円滑な計時や計測が進められておりました。大学に対しても大変感謝しているところでございます。

感染症対策が徹底された中で子どもたち一人一人が全力を発揮し、また応援し合う姿が大変すばらしかったです。私も久しぶりの野外での行事で、子どもたちの楽しそうな姿や大きな声援を聞くことができまして、大変気持ちのよい一日でございました。閉会式の講評の中で宇田委員長からお話があった競争と共感ということ、子どもたちはまさに身をもって体験し、実感していたというふうに感じました。現在のコロナ禍の中におきまして、子どもたちのためによりよいことを、チーム町田として、小・中学校全62校で、同じ方向を見ながら進めていくことが大切であると改めて感じた一日でございました。

その他の主な活動はお配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

それでは次に、各委員の皆様からご報告をお願いしたいと思います。

○後藤委員 10月になりまして、学校訪問、小学校連合体育大会、研究発表会などで、学校、子どもたち、先生たちの様子を視察する機会がようやく訪れました。民間教育研究所の調査を見ると、今年はコロナ禍の影響で、小・中学生のやる気、あるいは将来の夢などが低下し、教員も疲弊しているという結果でしたので、その点は大変心配していたのですが、視察を通して安心いたしました。子どもたちは元気に勉強や遊びをしていましたし、先生たちも意欲を持って授業に取り組んでいる姿を見ることができ、教育活動そのものがとても活気があるというふうに実感したからです。表面に見えない心身の状況もあるでしょうが、町田市の学校、子ども、先生方は、新型コロナウイルスに負けずに教育活動に邁進しているという大変喜ばしい姿を見ることができました。

学校行事を早々に中止した自治体もあるようですが、町田市教育委員会は学校と連携をして、可能な限りその状況に寄り添った判断をし、学校生活はもちろんのこと、他の実施方法を模索して、工夫して、運動会あるいは宿泊行事、連合行事等の実施に努めてきています。この取り組みは、先日、中P連の会合に参加した折に、会長の皆さんからも高く評価していただきました。まだまだ新型コロナウイルス感染症への脅威は続いていくと思われませんが、今後もウィズコロナの時代における町田の教育のあり方を模索し、学校生活や行事等もできる限り充実させて推進していけることを望んでおります。

私からは以上です。

○森山委員 私のほうからも1点ご報告をさせていただきたいと思います。

10月13日に市教委訪問で成瀬中央小学校にお伺いいたしました。校長先生から学校概要説明、校内の視察、授業視察、懇談というような流れで午前中を使ってお世話になりましたが、私は久しぶりに小学校にお伺いいたしまして、特に成瀬中央小学校については、教室での子どもたちの非常にいい雰囲気を感じました。先生と児童との関係、また、クラスの中での児童たちが非常に明るく、雰囲気がいい印象を受けました。

学習指導については、板書とノート指導が非常に徹底していて、工夫して板書をし、指導につなげているということを実感しました。加えて、町田が今しっかりと取り組んでおられるICTを活用した授業改善といたしますか、そこについては、クロムブックの活用が非常に有効に使われていると感じました。特に考える授業、それから学習のプロセスを非

常に大切にしている授業を徹底していたことを感じました。

もう1点は、学習指導に関して言語活動の充実をしっかり力を入れていると感じたところです。これは例えば運動会なら運動会という行事についても、実際に運動会のいろいろな準備、また、いろいろな体育的な要素を含むわけですが、頑張ったことをきちんと文章で表現するとか、そういうところでの掲示も含めて、しっかりと言語活動の充実に努めていた印象がございました。学校に伺いまして、そういうところをしっかりと感じる事ができたということで私も勉強させていただきました。

以上です。

○八並委員 私も、10月になって学校を訪問することができて、大変安心いたしました。コロナでの休業のこともありましたし、今までの例年の動きとは違って、どのようになっているんだろうというのを非常に心配しておりましたが、いつものように明るい笑顔と元気な声が聞こえてきて、どの学校に行ってもしっかりと挨拶をしてくれる、そんな学校訪問になり、大変うれしく思いました。

ただ、マスクをしているせいか、全体的におとなしい印象、落ちついた印象を受け、また私語が少ないというのを実感しました。これは学習においては、逆に非常に集中しやすい環境の一因にもなっているのではないかなという印象を受けました。

ただ、クラスの数によっては、かなり厳しい、密になるような印象も受けております。文科省でも1クラスの数についてはいろいろ検討が始められているということは伺っておりますが、そのようなことにおいて、ウィズコロナの時代には、そういった空間的な密度ということも、教室においてもかなり考えていかなければいけないのかなという印象を受けました。

また、各学校ともマスク、フェイスシールド、アクリル板、それぞれの授業の形態において使い分けをして、感染対策をしながら、子どもたちにどのようにしたら授業の内容がしっかり伝わるかという工夫をされていることにとても感激いたしました。

また、この期間中に生涯学習部の町田市民文学館ことばらんどでの企画展示を見てまいりました。「20×20原稿用紙&2 ☺☺(ニコニコ) 絵本原画展」ですが、こちらのほうは、原稿用紙そのものの歴史とか、それぞれの作者の自筆の原稿とか、原稿用紙そのものをアートにしたものなどもあり、とても楽しめました。また、町田にいらっしゃる絵本作家のおぼまことさん、わたなべゆういちさん、中垣ゆたかさんのお三方の作品の中の原画も展示されており、小さいお子さんでも楽しめるような展示になっておりました。

まだ12月まで行われておりますし、後期は3月まで行われております。今年はいろいろな変更がございましたが、市民の皆様には十分楽しんでいただける展示になっていると思いますので、ぜひ足を運んでいただきたいと思いをいたしました。

以上です。

○井上委員 私からは4点お話ししたいと思います。

1点目、小学校の運動会がありました。

観覧者の検温やアルコール手指消毒といった感染症対策に始まり、密を避けるために、演目を絞り、開催は午前のみ、保護者の観覧は自分の子どもの学年のみといった対策がとられました。1年生の一生懸命な姿は、ただただかわいらしく、それでいて、入学からまだ半年足らずなのに、不思議と園児のころとは違うお兄さん、お姉さんになったのだという自信がかいま見られました。6年生は、思春期ならではの人前で全力を出す気恥しさを乗り越え、競技や演目、応援への真剣なまなざしに胸が熱くなりました。

全国的には運動会が中止となった学校がある中で、例年にはない準備や工夫をして子どもたちの成長の場を設けてくださった学校に感謝の気持ちでいっぱいです。点数や紅白の勝敗ではあらずこのできない感動を感じた運動会となりました。

2点目に、市教委訪問についてです。

私は鶴川第三小学校、七国山小学校、鶴川第二小学校と3校訪問しましたが、元気がよく、人懐っこかったり、礼儀正しく、静かだったり、集中力が高く、切りかえが上手だったり、それぞれの地域性や特色、様子がうかがえました。

コロナのため対応を変更していかなければならないことが多いですが、例えば音楽の時間、歌う声を出せないけれども、そのかわりに楽譜を読めるようになったというような、逆境を生かした工夫というか授業の展開をされていて、それもすごく印象に残りました。

そのほか、研究発表会や連合体育大会や中学校PTA連合会の懇談会など、感想を述べたい行事はたくさんありますが、ほかの委員からもお話がありましたので、今回は私のほうで参加したものを中心にお話しいたします。

3点目は、11月1日に行われた町田市中学校連合演劇発表会についてです。演劇部のある市内6校全校が参加しました。感染拡大防止のため、マスクをしたままの演技となり、中にはコロナ禍での社会を反映した脚本もありました。

先生方にお話を伺うと、今回は密を避けるために、全員で合わせる事がなかなかできず、大きな声も出せず、納得がいく作品をつくる事ができなかつたり、体調不良者が出

て、役が変更になったり、直前まで出場を見送ろうかと悩んだ学校もあったようです。それでも代役を立て、みんなでフォローし合って1つの作品をつくり上げたいという熱い思いがひしひしと伝わってきました。

本番ではせりふが飛んでしまい、終わった後に泣き崩れていた生徒もいました。その子の肩をさすり、一緒に涙する生徒を見て、この発表の場があったことの意義を強く感じました。

最後に、小学校の修学旅行についてです。長男が11月2日から4日まで日光に行っていました。

まず、ほかの自治体では中止になっているところが多いので、うらやましいという声をたくさんいただきました。感染者数は依然横ばいで、これは判断が難しいところではありましたが、修学旅行が実施されたことは本当にありがたいことだと思っております。また、Go To トラベルキャンペーンを利用し、地域共通クーポンでお土産が買えるという保護者としてはうれしい誤算もありました。

帰宅した長男は興奮ぎみに、足尾銅山の坑道は全長1200キロ以上であること、華厳の滝は高さ97メートルで毎秒1トンの水が出ていること、両生類研究所で70歳超えのオオサンショウウオに会って、脳や舌を切り取っても再生するアカハライモリの再生能力について学んできたことなどを身ぶり手ぶり教えてくれました。

感染症対策も気になるころなのですが、びっくりした話がありまして、お風呂に5人ずつ入ったときのことで。子どもたちはマスクをするのが当たり前になっているため、何と5人中3人が裸にマスクをつけたまま入浴してしまい、途中で顔を洗うときになってようやく気がついたそうです。笑ってしまうような話なのですが、それくらい子どもたち自身も慎重になって気をつけて過ごしているのだと感じました。

そして、例年実施の夏ごろとは時期がずれたことにより、雪合戦をして帰ってきたという思い出は、一生子どもたちに印象強く残ることかと思えます。修学旅行実現にお力添えをいただきました皆様に心より感謝を申し上げたいと思えます。

私からは以上です。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問などありましたらお願いいたします。

また、そのほかに事務局も含めて、報告はよろしいでしょうか。――よろしいですか。

以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第32号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明を申し上げます。

○**学校教育部長** 議案第32号「第12期町田市学校給食問題協議会委員の委嘱又は任命及び解任について」、ご説明いたします。

本件は、町田市学校給食問題協議会の設置に関する条例に基づき、第12期町田市学校給食問題協議会委員を委嘱または任命及び解任するものでございます。

1枚おめくりください。選出母体の人事異動や役員改選等により、6名が解任となり、新たに6名を委嘱するものでございます。

任期は協議会開催予定の11月18日から、2021年1月21日までといたします。

次のページをご覧ください。新たな第12期学校給食問題協議会委員名簿でございます。

説明は以上となります。

○**教育長** 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して、ご質問等ございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了します。

お諮りします。議案第32号は原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

休憩いたします。

午前10時20分休憩

午前10時21分再開

○**教育長** 再開いたします。

日程第4、協議事項に入ります。

協議事項(1)「町田市スポーツ推進審議会委員の選任について」を協議いたします。

本件は、お手元の資料のとおり、10月16日付で町田市長から教育長宛てに審議会委員の選出について協議があったものでございます。

なお、本日は、市長部局の担当である文化スポーツ振興部の担当者が出席しておりますので、詳細につきましてはそちらから説明していただいて、その上で教育委員の皆様から意見を述べるという形で協議を進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

それでは、説明をお願いします。

○スポーツ振興課担当課長 まずスポーツ推進審議会の概要からご説明をいたします。

町田市スポーツ推進審議会は、市長の諮問に応じ、スポーツ推進に関する重要な事項について調査審議し、答申を行う市の附属機関でございます。

スポーツ推進審議会は、町田市スポーツ推進審議会条例に基づいて設置され、町田市スポーツ推進計画について審議を行います。現行の計画、「町田市スポーツ推進計画19-28」は、2018年3月に計画策定に至りました。2020年度につきましては現行計画の進捗状況についての審議を予定しております。

次に、審議会の委員です。審議会は11人の委員で構成され、任期は2年となっております。2018年度に委嘱した委員任期は2020年5月で任期満了となっておりますため、新たに2年の任期で委嘱を行います。

メンバーの構成といたしましては、学識経験者3人以内、スポーツ団体の代表3人以内、経済関係団体の代表1人、保健医療関係団体の代表1人、市民2人以内、町田市立公立中学校長会の代表1人となっております。

選任の方法につきましては、市民2人は公募、それ以外の委員につきましては、各団体からの推薦により選任することとなっております。

審議会の役割につきましては、2018年度に現行計画「町田市スポーツ推進計画19-28」を策定しました。2019年度からは、計画の進捗管理、及び18歳以上の市民3,000人を対象に毎年実施するスポーツに関する市民意識調査アンケートの報告等を行っております。

なお、今年度は1回の開催を予定しておりまして、第1回の審議会は2021年2月の開催を予定しております。

続きまして、今回の委員の選任の具体的な内容につきまして、「町田市スポーツ推進審議会委員名簿」と記載のあるA4横使いの資料にて案をお示ししております。

主立ったところをご説明いたしますと、学識経験者につきましては、「スポーツ推進計画19-28」の計画策定にかかわった市内の大学のほうに推薦をお願いしております。体育やスポーツを専門分野として持つ大学の教授となっております。スポーツ団体からは、町田市のスポーツの普及推進に係る取り組みを行っている団体の代表となっております。スポーツ推進委員、町田市体育協会、地域スポーツクラブの代表となっております。

ご説明は以上となります。ご協議のほどよろしくお願いいたします。

○教育長 以上で説明は終わりました。

これより協議に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かご質問、ご意見などございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは、本協議内容について、特にご異議がなければ、教育委員会として同意するというので、その旨、文書で、私から市長宛て回答したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

休憩いたします。

午前 10 時 25 分休憩

午前 10 時 26 分再開

○教育長 再開いたします。

次に、協議事項(2)「町田市学校給食問題協議会への諮問について」を協議いたします。

本件について、担当者からご説明申し上げます。

○保健給食課長 協議事項(2)「町田市学校給食問題協議会への諮問について」でございます。

資料の1番と2番です。

2番の諮問事項でございますが、新たな中学校給食の提供方式について協議を必要といたしましたので、町田市学校給食問題協議会の設置に関する条例第2条に基づきまして、町田市学校給食問題協議会に諮問をするものでございます。

諮問内容は3番に記載をいたしました。内容については記載のとおりでございますけれども、これまでの中学校給食の状況と現状における課題を記載しておりまして、今、実際に行っております給食の提供では利用が伸びないことと、利用者からお声をいただいております例えば温かい給食の提供などが難しいということ、それから、今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、6月に学校を再開し、給食の提供も準備をいたしましたけれども、こうした非常時に求められるような迅速で柔軟な対応をとることが難しいという状況がございましたので、新たな課題として認識し、これの改善のために、新たな中学校給食の提供方式について協議をしていただくために諮問をするものでございます。

本件につきましては、2020年11月18日に開催されます第12期町田市学校給食問題協議会において諮問をする予定でございます。先ほど議案第32号でご承認をいただきました委員を加え、開催を予定しております。

説明は以上でございます。

○教育長 説明は終わりました。

これより協議に入ります。ただいまの説明に関して、何かご質問、ご意見などがございましたらお願いいたします。

○後藤委員 質問ですが、まだこれから話すことなのでしょうけれども、今回の協議会では実際にどんな新たな方式が検討されるのでしょうか。つまり、その可能性ですね。その辺の予測を含めて少し情報を提供してください。

○保健給食課長 現在行っておりますデリバリー式の選択制の中学校給食でございますが、この状況において改善すべき課題、また、改善が難しいような状況というのを確認し、これを見直す必要があるということになりました。ですので、例えば選択制の給食なのか、全員給食に変更していくのか。あるいは、現在のようにランチボックスによる提供なのか、食缶であるのか。また、提供方法は小学校と同様に自校式のものであるのか、連携をした親子方式であるのか、あるいは給食センターなど含めて、どのスタイルで実施をしていくことが、町田市の中学校給食が抱える課題の改善によりつながるかというところでご協議をいただくということでございます。いろいろ比較検討をしていただき、答申をいただきたいと考えております。

○教育長 そのほかにいかがでしょうか。

○八並委員 諮問内容の最後のところにもございますが、「新たな課題」ということで「非常時に求められる迅速な対応をとることが難しい状況」というふうに書かれております。具体的にはどのようなことになりますでしょうか。

○保健給食課長 4月、5月に学校の臨時休業がございまして、6月から学校を再開しております。その段階では小・中ともに分散登校という形をとりました。通常のカリキュラムと変わったスタイルで授業を行ったわけですがけれども、そのときには、小学校では1日置きに登校させて、毎日給食は提供をしていた。およそ3時間目まで授業をして、給食をとって帰宅するというスタイルをとりました。

中学校については、実際そのような形をとることができませんでしたし、中学校の特色であるような授業の組み方をいたしましたけれども、その際に、現行の給食をなかなか十

分に利用されなかったというところがございます。

現在のものについては、市外の民間事業者調理・配送を委託しておりますので、通常のようなスタイルであれば提供ができたかなというところもあるのですが、分散登校において、いつもよりも1時間程度早い時間帯に給食の提供をというように求めをしたときに、そういった柔軟な対応はなかなかできなかったという現状がございます。それらがここで言う非常時等の新たな課題の1つとして捉えております。

○教育長 そのほかにいかがでしょうか。ご質問等ありましたらお願いします。――よろしいですか。

それでは、本協議内容につきましては、特にご異議がなければ、ご提案させていただいた案のとおり、学校給食問題協議会へ諮問したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

なお、協議会からこの諮問への答申をいただきましたら、またこの定例会におきましてご報告をさせていただきたいと思っております。

以上で協議事項を終了いたします。

次に、日程第5、報告事項に入ります。

本日の報告事項は3件ございます。報告事項(1)について担当者から報告をさせていただきます。

○図書館長 それでは、報告事項(1)「町田市立図書館と横浜市立図書館との相互利用協定の締結について」、ご報告いたします。

町田市と横浜市は、それぞれの市民が行政区域を越えて相互に図書館資料を利用できるように、相互利用協定を締結いたしました。

町田市では、これまでに9個の市と相互利用協定を締結してございます。今回の横浜市との相互利用の開始により、これで10個の市の図書館を町田市民が使うことができるようになりまして、利便性がさらに向上いたします。

相互利用の開始日は、2020年11月1日(日)からとなっております。

相互利用の利用者は、町田市及び横浜市に住所を有する者となります。

相互利用のサービスの範囲は、資料のとおりとなります。横浜市立図書館の蔵書数の412万冊というのは、日本の市区町村の蔵書の数としては全国で2番目に多い数となっております。こちらの資料を町田の市民が借りることができるという形になります。

資料をおめくりいただきますと、今まで町田市が協定を結んでいる市を地図のほうに落とさせていただいてございます。横浜市との相互利用が成立して、町田市と行政区画が隣接している市全てと相互利用協定を行っている形となります。

資料3枚目、4枚目は、横浜市立図書館の所在地の地図と住所を書かせていただいております。

11月1日に相互利用を開始いたしまして、昨日、11月5日まで、町田の図書館は4日間開館してございましたが、横浜市の方で登録をされた方は昨日までで137名となっております。4日間で137名です。町田の図書館は年間約300日開館してございまして、1年に大体1万人の新規登録の方がいらっしゃいますので、1日平均33.3人、そのあたりの数が1日の登録者ですけれども、この4日間で137人ということで、横浜の方だけで平均値を少し上回るぐらいの方がいらっしゃるという状況でございます。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等ございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(2)について担当者からご報告いたします。

○図書館長 報告事項(2)「『これからの図書館スタート事業』中央図書館開館30周年記念イベントについて」、ご報告をさせていただきます。

中央図書館では、2020年で開館30周年記念となります。以下のイベントを行うこととなりましたので、ご報告をいたします。

このイベントにつきましては、2020年2月に決めました「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」による「新たな利用者層の創出につながる事業」の一環としても実施をさせていただいているところでございます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、今回のイベントの講演会につきましては、図書館としては2020年度最初の講演会という形になります。そのため、新型コロナウイルスの対応をきちんとしながら行っていこうと考えております。

主な事業内容は以下の3つになります。

1つは、中央図書館30周年の企画展示となります。中央図書館の特集のコーナーで、まず、30にちなんだ本や資料の展示や貸し出しを行うことを考えております。例えばちょうど30年前のベストセラーみたいなものを展示して皆さんに見ていただこうと考えております。

す。

また、中央図書館の展示コーナーがございます。こちらの展示は例えば30年の図書館ないしは社会の歩みとか、例年「まちだ図書館まつり」を行っておりまして、昨年度と今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応のため中止とさせていただいておりますが、こちらの実行委員会有志の方々によるいろいろな展示を行おうと考えているところでございます。

2番、講演会でございます。「英語多読で楽しく学ぼう！」ということで、11月22日、中央図書館のホールで、NPO多言語多読というところの理事であります酒井邦秀先生に講師になっていただいて、講演を行っていただく形になります。

「定員50名」となっておりますが、中央図書館6階のホールの定員は最大で117名まで入るところですけれども、やはりソーシャルディスタンスを保つこと、あと、中の消毒、それから、当然、出入り口での確認をさせていただいて、コロナに対応していこうと考えているところでございます。

最後に、3番目、講演会でございます。「夢のかなえかた～作家って、どんな仕事？～」という講演会につきまして、児童文学作家の工藤純子先生をお招きして、講演をいただく形となっております。

対象は主に町田市在住・在学及び相互利用市にお住まいの小学1年生から18歳までの児童・生徒やその保護者ということです。定員はやはり50名という形で講演会をやらせていただこうと思います。

広報につきましては、こちらに出しておりますとおり、ポスターやチラシ、「広報まちだ」の11月1日号には掲載させていただいております。あと、町田市立図書館独自のホームページとツイッターがございますので、こちらのほうでも情報を流しているところでございます。

なお、3番の講演会は、主に小学生の方に来ていただきたい講演会でございますので、こちらのチラシは市内の各小学校に配布をさせていただいた次第でございます。

報告は以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(3)について担当者から報告をいたします。

○**生涯学習センター長** 報告事項(3)「第9回生涯学習センターまつりの実施について」、

報告いたします。

生涯学習センターでは、日ごろ当センターで活動しているサークルや団体の皆さんの成果発表の場として、また、利用したことのない市民の方に活動をご覧いただき、利用へとつなげていくため、生涯学習センターまつりを開催しております。

9回目の今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、来場型での開催は中止し、まつりの趣旨である「全ての利用団体でつくり上げるみんなのまつり」と「生涯学習センターでのサークル活動を多くの方々に知っていただく発表の場」の継続性を念頭に、活動の様子や作品の数々をインターネット上で配信する形式です。

ホームページの配信期間は、2020年11月1日から2021年3月31日までで、当初の掲載団体は20団体ですが、開始後に掲載希望の申し出等があることを想定し、月1回の更新を予定しております。

周知方法ですが、「広報まちだ」、ホームページでの掲載、ツイッターによる発信のほか、各公共施設でのポスター掲示やチラシの配布、マスコミによるPRを行います。

なお、資料に掲載の写真は、ホームページ上で公開する団体の活動の様子を例示しております。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

予定された本日の公開案件の議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様あるいは事務局のほうから何かございましたらお願いいたします。

○学校教育部長 資料はございませんが、私から小・中学校の状況を報告させていただきます。前回の教育委員会でご報告した内容と少しかぶる部分もございますが、4点報告させていただきます。

1点目です。運動会、体育祭は、先ほどお話もございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの学校が秋以降に時期をずらしました。工事の関係で中止となった小・中1校ずつを除き、9月24日（木）から10月31日（土）までに、小学校が39校、中学校16校で無事に終了いたしました。今年度は、時間の短縮、競技内容の精選、保護者の人数制限や、ご自身のお子さんの競技時間のみの観戦など、さまざまな感染症予防対策を講じての開催でした。また、学校に来られない保護者などのために、運動会をライブで配

信した学校もございました。今後ほかの学校へもこのような取り組みを広げていければと考えております。この後は、明日、11月7日（土）に小学校で2校、そして来年3月に中学校3校が行う予定となっております。

2点目です。小学校6年生の移動教室は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた上で実施することとし、11月1日（日）に出発した2校から始まり、既に7校が問題なく実施しております。今日現在では3校が移動教室に行っている状況です。この後は、11月に予定している学校が多いですが、12月、2月、3月に実施する学校もあります。予防対策の1つとして、通常二泊三日のところを一泊二日に短縮している学校が、中学校2校を含め、13校ございます。現在ほとんどの学校では、出発から学校に戻ってくるまでの様子をリアルタイムでホームページ上に掲載するようになってまいりましたので、ご覧いただければと思います。

3点目です。小学校給食は、6月の学校再開から、感染防止に配慮し、品数を減らしたり、個別包装した食材などを提供してまいりましたが、11月から通常給食に戻しました。引き続き感染拡大防止に配慮した対応を続けてまいります。

4点目です。2021年度、来年度の新小学1年生を対象にした就学児健康診断が、10月28日の山崎小学校を皮切りに始まりました。残りの41校は11月に行う予定です。これについても感染拡大防止対応としてマスクの着用を必須にしたり、例年よりも控室となる教室を多く設定し、対象児童、保護者を分散し、密集しないように配慮し、実施いたします。

そして、1件ご案内させていただきます。「広報まちだ」にも掲載されておりますが、町田市広報番組「まちテレ」で「町田の教育」が11月から放映されております。内容は「えいごのまちだとICT教育について」で、子どもたちがスヌーピーミュージアムで学ぶ場面や、堺中学校でICTを活用した授業に取り組んでいる様子などを放映しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

報告は以上です。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

そのほかに報告はございますでしょうか。――よろしいですか。

休憩いたします。

午前10時45分休憩

午前10時46分再開

○教育長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○教育長 以上で町田市教育委員会第8回定例会を閉会いたします。

午前10時48分閉会